



九州歯科大学 図書館だより NO.92

非常に寒かったこの冬も、少しずつ終わりが近づいてきました。春休みは帰省や旅行など外出する機会が増えますが、是非、好きな本と共に旅を試してみてください。また、この時期の図書館は比較的空いていますので、皆さま積極的にご利用ください。口腔保健学科4年生は国家試験全員合格目指して最後まで頑張ってくださいね！



図書館運営部会 人見涼露

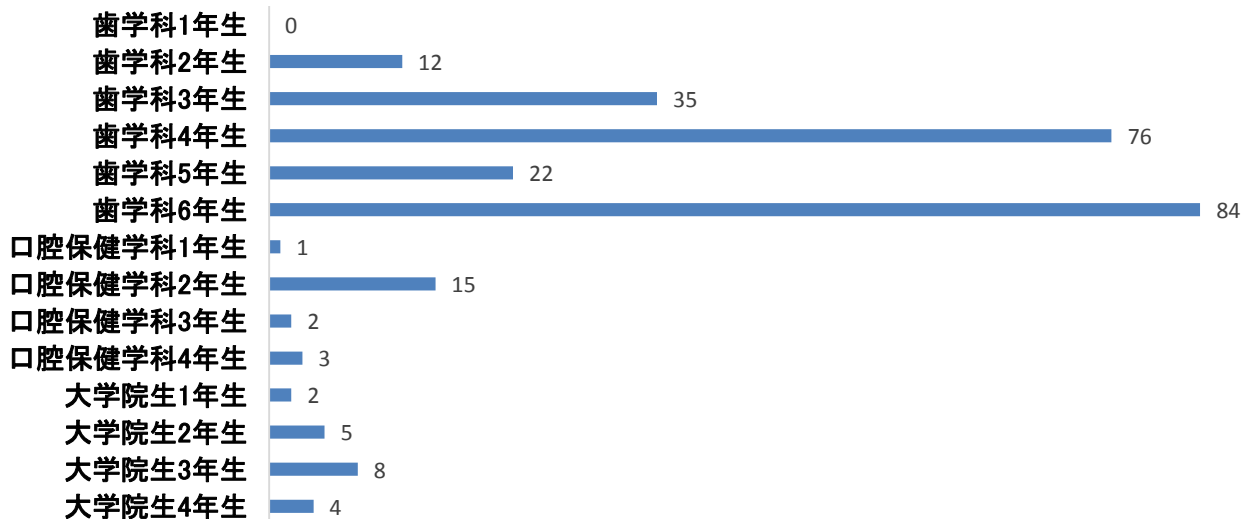
貸出ランキング

2018.1



- 1位 歯科麻酔学 第6版, 古屋英毅 [ほか] 編集
- 2位 歯科矯正学 第5版, 相馬邦道 [ほか] 編集/相馬邦道 [ほか] 執筆
- 3位 パーシャルデンチャーテクニック 第5版, 五十嵐順正 [ほか] 編
- 4位 現代歯科薬理学 第4版, 加藤有三, 篠田寿, 大谷啓一編集
- 5位 コンプリートデンチャーテクニック 第5版, 細井紀雄 [ほか] 編
- 6位 口腔外科・麻酔 109回国試突破version (Dr.加藤の国試合格ノート:5), 加藤和英著
- 7位 放射線物理・読影 109回国試突破version (Dr.加藤の国試合格ノート:6), 加藤和英著
- 8位 免疫学イラストレイテッド, David Male [ほか] 著/高津聖志, 清野宏, 三宅健介監訳
- 9位 コンプリートデンチャーテクニック 第6版, 細井紀雄 [ほか] 編
- 10位 クラウンブリッジテクニック, 石橋寛二 [ほか] 編

貸出冊数(1月)



第7回選書ツアー一紹介本



『小さな習慣』 スティーヴン・ガイズ著/田口未和訳

「人の行動の45%は習慣である」などといったことばを聞いたことがあるでしょうか。

私自身も"悪い習慣"を無くして、"良い習慣"を増やしていきたいと思っていましたが、そんな時に会ったのが本書です。

習慣を変える秘訣は、本書のタイトルにもなっている通り"小さな"習慣に尽きるということです。ではどうして習慣は小さくしなければならないのか。その答えが、脳科学や行動心理学の見地から分かりやすく説明されています。今年"小さな習慣"を読んで、新しい習慣をはじめるとはいいでしょうか。



『後宮に星は宿る』 篠原悠希



大陸の強国、金柵（ジンファ）帝国。主人公の遊圭は、名門・星家の御曹司であった。しかし、この国の法律、「皇帝に外戚なし」の法のもとに、星家は一族すべて殉死を命じられてしまった。遊圭は死ぬ運命であったが、一家の療母（薬師）、胡娘（コジョウ）の助けにより、一人逃げ延び、町娘の明々に出会う。明々はかつて遊圭に救ってもらったことを恩に感じており、遊圭を匿ってくれた。そんな矢先、明々の後宮への出仕が決まる。再びの絶望的状况に、明々はこう言い放った。

「あんたも、一緒に来るといいのよ」

遊圭は、小柄で女子にも見える体躯を生かし、少年・遊圭は女装して後宮へ出仕することに。後宮での日々は、何事もないように思えたが、美貌の宦官・玄月に正体を疑われてしまう。つぎつぎと襲いかかる試練に、対抗できるのは己の知恵と仲間だけ。理不尽すぎる世の中で、少年は生き抜くことができるのか。

『砂漠』 伊坂幸太郎

人生における贅沢とは、人間関係における贅沢だ。

この本に出てくる学長が卒業式で言った言葉だ。サン=テグジュペリの引用らしい。

個性的だけど芯のある西嶋、そんな西嶋を慕う超美人の東堂、鳥井を支える超能力者南、語り手であり鳥瞰型の北村、その四人を引き合わせた鳥井。この本を読んでみてほしい。本書の五人（東西南北+鳥井）は間違いなく贅沢だ。

人生の夏休み、モラトリアムの時期といわれている大学時代は、社会に出ていく準備期間だ（歯学生とくにその傾向があると思う）。そして厳しい社会“砂漠”にでるその時は目前に迫っている。でも、本書のような手探りでロックな青春を目にすると、砂漠に雪を降らすことだって余裕でできる、と希望を持って何かに向かっていけるだろう。

